



2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月15日

上場会社名 株式会社リファインバースグループ 上場取引所 東
 コード番号 7375 URL https://www.r-inverse.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶
 問合せ先責任者(役職名) 経理財務部長 (氏名) 蓮池 智嗣 TEL 03(6281)4879
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第3四半期の連結業績(2024年7月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	3,114	10.8	159	—	135	—	114	—
2024年6月期第3四半期	2,809	△19.0	13	△91.8	△8	—	△16	—

(注) 包括利益 2025年6月期第3四半期 114百万円(—%) 2024年6月期第3四半期 △16百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	34.13	—
2024年6月期第3四半期	△4.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期第3四半期	3,556	243	5.1	53.70
2024年6月期	3,365	130	1.9	19.57

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 179百万円 2024年6月期 65百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年6月期	—	0.00	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,145	7.6	230	603.9	195	—	175	—	52.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期3Q	3,348,421株	2024年6月期	3,348,421株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	137株	2024年6月期	137株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年6月期3Q	3,348,284株	2024年6月期3Q	3,340,246株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、前期に引き続き既存事業でコスト削減を進めながら、今後の成長の核となる新規事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。また、SDGsやサーキュラーエコノミーの文脈において事業機会が相当数増加しており、事業化の取組みを加速しております。

素材ビジネスにおいては、当社の主力製品である再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の引き合いが前期に引き続き好調なことに加え、2023年11月1日に設立された日本リサイクルカーペット協会に参加しリサイクルカーペットの更なる普及に取り組んでおります。また、再生ナイロン樹脂「REAMIDE®」(リアミド)は、製品の高品質化への取組みを強化し大手需要家との取引拡大を進めると同時に、国内外を問わず外部企業等との連携や弊社技術のライセンス供与等の取組みも進めており、今後は更なる収益・利益増加を目指してまいります。また、ソリューション事業においては、社会的に資源循環へ取組みが加速しており、資源循環における当社グループのノウハウへの引き合いが増加しております。顧客と連携した再資源化技術開発、ライセンス提供先への技術指導などで収益源が拡大しており、ライセンス供与と併せて収益増加を目指してまいります。

資源ビジネスにおいては、顧客の課題解決に取組む提案型営業を指向すると同時に、オペレーションの見直しやリソース配分の最適化を行いながらDX化等を進めたことで生産性が向上しており、安定的に利益を確保しております。また、新規事業領域となる廃プラの収集・再資源化への取組みを加速し、既存事業での安定的な成長とともに収益基盤の強化に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,114,175千円(前年同期比10.8%増)、営業利益159,718千円(前年同期比1,041.7%増)、経常利益135,382千円(前年同期経常損失8,525千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益114,268千円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失16,616千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

また、記載のセグメント別の金額はセグメント間取引の相殺前の数値です。

① 素材ビジネス

素材ビジネスにつきましては、脱炭素、資源循環の流れを受けリサイクルカーペットの需要増加に伴い廃カーペットタイルを再資源化した再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の引合いが増加しております。一方で、廃タイルカーペットタイル調達量との需給ギャップが一時的に発生しておりましたが、廃タイルカーペットの調達拡大策が奏功し需給ギャップは収束しつつあります。その結果、売上高は前年同期比で増収となりました。

また、自動車エアバッグの基布や廃棄漁網等を再資源化したナイロン樹脂「REAMIDE®」(リアミド)は、大手需要家の品質要求に対応するため高品質化、生産体制の見直しを進めております。これらの高付加価値化施策により、アパレルや成型パーツ向け等の複数の業界との取引の増加を見込み、新たな事業領域へ拡大・成長に取り組んでおります。また、当社自動車エアバッグ基布リサイクル技術や廃漁網リサイクル技術の海外企業へのライセンス供与やライセンス先への技術指導等による収益案件の獲得を進めております。しかしながら、当第3四半期連結累計期間においては、REAMIDE®の生産体制見直しに伴う生産量の低下等もあり、前年同期比で減収となっております。

更に、三菱ケミカル株式会社が実施する油化ケミカルリサイクルへの廃プラ原料供給のサプライチェーン構築を進めており、事業成長に向けた先行投資を実施しております。

この結果、売上高は974,569千円(前年同期比2.2%増)となり、セグメント利益は13,148千円(前年同期比80.2%減)となりました。

② 資源ビジネス

資源ビジネスにつきましては、顧客の課題解決に取組む提案型営業により大口顧客の獲得を進めると同時にオペレーションの見直しやリソースの最適化を行い、産業廃棄物処理事業で過去最高水準の利益水準を維持しております。収集運搬・中間処理を一括受注できる体制と資源循環を推進するサービスを強みに営業活動を強化したことに加え、DX化の推進による廃棄物処理状況の可視化など顧客の課題解決を図る取組みが功を奏し、既存顧客からの受注獲得に加え新規大口顧客からの受注も増加しており、原状回復工事の受注獲得も含め受注件数は前年同期対比で大幅に増加しております。また、三菱ケミカル株式会社向け油化ケミカルリサイクル用廃プラの収集だけでなく広範な廃プラを収集する仕組みの構築を進めており、廃プラの資源循環を加速しております。

この結果、売上高は2,196,327千円(前年同期比15.4%増)、セグメント利益は498,588千円(前年同期比34.4%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,496,204千円となり、前連結会計年度末(以下「前年度末」という)と比べ187,377千円増加しております。これは主として現金及び預金が210,123千円増加、商品及び製品が34,958千円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は2,060,676千円となり、前年度末と比べ3,584千円増加しております。これは、主として有形固定資産が21,304千円増加、無形固定資産が12,804千円増加、敷金及び保証金が30,590千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,143,036千円となり、前年度末と比べ132,885千円増加しております。これは主として1年内返済予定の長期借入金が73,247千円増加、支払手形及び買掛金が38,154千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は2,170,804千円となり、前年度末と比べ54,753千円減少しております。これは、主として長期借入金93,011千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は243,039千円となり、前年度末と比べ112,830千円増加しております。これは、主として利益剰余金が114,268千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年8月14日の決算短信で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	511,956	722,080
受取手形、売掛金及び契約資産	526,783	527,148
商品及び製品	133,328	98,370
仕掛品	24,298	32,119
原材料及び貯蔵品	37,354	63,867
前払費用	30,686	40,533
未収還付法人税等	29,477	3,507
その他	17,454	9,839
貸倒引当金	△2,512	△1,262
流動資産合計	1,308,827	1,496,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,269,682	1,323,965
機械装置及び運搬具	1,290,033	1,324,674
工具、器具及び備品	102,995	122,669
土地	520,100	520,100
リース資産	340,987	309,632
建設仮勘定	—	793
減価償却累計額	△1,728,527	△1,785,259
有形固定資産合計	1,795,271	1,816,575
無形固定資産		
投資その他の資産	12,027	24,832
投資有価証券	20,000	20,000
繰延税金資産	47,892	51,453
敷金及び保証金	192,896	162,306
その他	23,428	17,658
貸倒引当金	△34,425	△32,150
投資その他の資産合計	249,791	219,268
固定資産合計	2,057,091	2,060,676
資産合計	3,365,918	3,556,881

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	152,046	190,200
短期借入金	50,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	475,224	548,471
リース債務	65,613	64,949
未払金	104,540	74,820
未払費用	108,032	93,360
未払法人税等	11,047	20,159
未払消費税等	26,273	30,661
賞与引当金	—	16,454
受注損失引当金	690	—
その他	16,683	23,958
流動負債合計	1,010,151	1,143,036
固定負債		
長期借入金	1,958,664	1,865,653
リース債務	109,264	113,253
繰延税金負債	53	—
資産除去債務	157,575	158,272
その他	—	33,626
固定負債合計	2,225,558	2,170,804
負債合計	3,235,709	3,313,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	162,885	162,885
資本剰余金	203,768	203,768
利益剰余金	△300,876	△186,607
自己株式	△251	△251
株主資本合計	65,526	179,794
新株予約権	64,682	63,244
純資産合計	130,209	243,039
負債純資産合計	3,365,918	3,556,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	2,809,758	3,114,175
売上原価	1,922,365	2,100,424
売上総利益	887,393	1,013,750
販売費及び一般管理費	873,403	854,032
営業利益	13,989	159,718
営業外収益		
受取利息	5	295
助成金収入	969	—
その他	791	3,800
営業外収益合計	1,767	4,096
営業外費用		
支払利息	23,772	28,018
その他	508	413
営業外費用合計	24,281	28,432
経常利益又は経常損失(△)	△8,525	135,382
特別利益		
固定資産売却益	14,138	1,048
新株予約権戻入益	664	3,371
特別利益合計	14,802	4,420
特別損失		
固定資産除却損	3,990	4,643
その他	—	432
特別損失合計	3,990	5,075
税金等調整前四半期純利益	2,287	134,727
法人税、住民税及び事業税	17,976	24,074
法人税等調整額	928	△3,615
法人税等合計	18,904	20,458
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,616	114,268
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,616	114,268

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,616	114,268
四半期包括利益	△16,616	114,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,616	114,268
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	907,229	1,902,529	2,809,758	2,809,758
セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,325	843	47,168	47,168
計	953,555	1,903,372	2,856,927	2,856,927
セグメント利益	66,572	371,099	437,671	437,671

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	437,671
セグメント間取引消去	8,227
未実現利益の調整額	△1,040
全社費用(注)	△430,869
四半期連結損益計算書の営業利益	13,989

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	918,804	2,195,370	3,114,175	3,114,175
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55,764	957	56,722	56,722
計	974,569	2,196,327	3,170,897	3,170,897
セグメント利益	13,148	498,588	511,737	511,737

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	511,737
セグメント間取引消去	△738
未実現利益の調整額	△450
全社費用(注)	△350,829
四半期連結損益計算書の営業利益	159,718

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	178,066千円	167,231千円